

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成19年4月19日(2007.4.19)

【公表番号】特表2006-520485(P2006-520485A)

【公表日】平成18年9月7日(2006.9.7)

【年通号数】公開・登録公報2006-035

【出願番号】特願2006-504077(P2006-504077)

【国際特許分類】

G 0 3 F 7/004 (2006.01)

G 0 3 F 7/00 (2006.01)

G 0 3 F 7/032 (2006.01)

【F I】

G 0 3 F 7/004 5 0 1

G 0 3 F 7/004 5 0 5

G 0 3 F 7/00 5 0 3

G 0 3 F 7/032

【手続補正書】

【提出日】平成19年2月22日(2007.2.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(a) ポリビニルアルコールをアルデヒドと縮合させることにより誘導されるアセター
ル樹脂、および

(b) 多価フェノールを含む現像促進化合物
を含んで成る放射線感受性組成物。

【請求項2】

前記現像促進化合物が、レソルシノール、4-ヘキシルレソルシノール、n-ドデシル
レソルシノール、および1-ナフトールの内の少なくとも1種であるか、または、ピロガ
ロール、フロログルシノール、1, 2, 4-ベンゼントリオール、ならびにそれらのアル
キルおよびフルオロアルキル誘導体の内の1種である、請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

(a) (i) ポリビニルアルコールをアルデヒドと縮合させることにより誘導されるア
セタール樹脂、および

(i i) フェノール基を有するポリマー、
の内の1種を含む樹脂、ならびに

(b) 多価フェノールを含む現像促進化合物
を含んで成る放射線感受性組成物。

【請求項4】

前記現像促進化合物が、レソルシノールおよびフロログルシノールの内の1種である、
請求項3に記載の組成物。

【請求項5】

放射線-熱転化用化合物をさらに含んで成る、請求項1~4のいずれか一項に記載の組
成物。

【請求項6】

前記放射線 - 熱転化用化合物が赤外光 - 熱転化用化合物である、請求項 5 に記載の組成物。

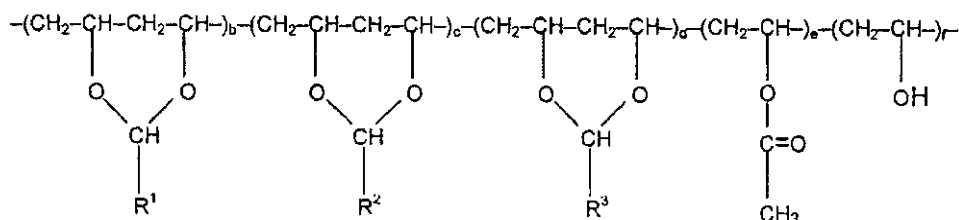
【請求項 7】

溶解抑制剤をさらに含む、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 8】

前記アセタール樹脂が下記の構造を有する請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の組成物：

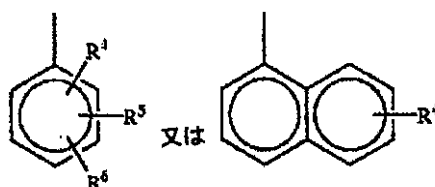
【化 1】



上式中、 R^1 は $-C_nH_{2n+1}$ (ここで $n = 1 \sim 12$) であり、

R^2 は、

【化 2】



(ここで、

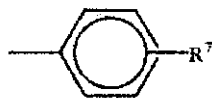
$R^4 = -OH$;

$R^5 = -OH$ または $-OCH_3$ または Br - または $-O-CH_2-C(CH_3)_2$ 、そして

$R^6 = Br$ - または NO_2 である) であり、

R^3 は、 $-(CH_2)_t-COOH$ 、 $-C(CH_3)_2$ 、または

【化 3】



(ここで、 $R^7 = COOH$ 、 $-(CH_2)_t-COOH$ 、 $-O-(CH_2)_t-COOH$ 、
そして、 $t = 1 \sim 4$ である) であり、そして

$b = 5 \sim 40$ モル%、

c = 10 ~ 60 モル %、

d = 0 ~ 20 モル %、

e = 2 ~ 20 モル %、そして

f = 5 ~ 50 モル %である。

【請求項 9】

(a) 基材、および

(b) 前記基材の表面上の、請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の前記組成物をコーティングし、乾燥させた層、
を含んで成る画像形成可能な素子。

【請求項 10】

親水性リソグラフ印刷表面上に請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の放射線感受性組成物の層を含んで成る、ポジ型作動のリソグラフ印刷前駆体。

【請求項 11】

(a) 親水性リソグラフ印刷表面上に請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の放射線感受性組成物の層を含んで成るリソグラフ印刷前駆体を用意すること、そして

(b) 画像形成放射線で前記層の領域を像様照射して、前記層を、照射された領域では水性アルカリ性溶液により溶解性とすること
の各工程を含んで成るリソグラフ印刷マスターを製造する方法。